

徳島大学病院では、令和5年度の研修医を迎える準備を進めています。本院の4つの研修プログラムは、いずれも研修医の皆さんの希望をかなえられる自由度の高いプログラムを提供できるのが特徴です。卒後臨床研修センターは、研修医の皆さんが研修を通じて医師として求められるコンピテンシー(プロフェッショナリズム、資質・能力、基本的診療業務力)がしっかりと身につくよう細やかにサポートします。患者・家族を思いやる心、多職種連携によるチーム医療、EBM視点での医療の実践など学びを深めてください。

Withコロナの現状下、感染対策が日常で患者・家族との自由なコミュニケーションが制限され、研修医の皆さんは不安や戸惑いを感じているかと思えます。本センターを中心に本院職員が皆さんに寄り添い、実りある研修生活を送ることができるよう全力で応援します。困ったことがあればなんでも相談してください。そして2年後の研修を終える頃には、各人が自信と希望を持って次の専門領域の扉を開く姿を期待しています。



病院長 香美 祥二

徳島大学病院 研修プログラム説明会

初期研修
および
専門医研修

2022年7月2日(土)に徳島大学大塚講堂にて医学科学生(主に5・6年生対象)および初期研修医に向けて徳島大学病院研修プログラム説明会を開催いたしました。コロナ感染予防対策上、参加者を限定とさせていただきますが、3年ぶりの対面開催であり、集会できる喜びを久々に実感いたしました。

第一部では大ホールで初期臨床研修および専門医制度の説明を行い、第二部は徳島大学病院の卒後臨床研修センターおよび各診療科(部・センター)による合同説明会をブース形式で行いました。また、日頃より臨床研修で大変お世話になっている協力病院・施設には、当日パンフレットなど貴重な資料をご提供いただき、感謝申し上げます。

第二部の後半には、協力病院・施設へ出向中の当院初期研修医の先生にオンラインで参加いただき、医学生との座談会を行いました。徳島大学からだけでなく他大学も合わせて57名の医学生・初期研修医の方々にお越しいただき、盛会となりました。その他、県外学生さんの病院見学に関しても、全国の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染状況に配慮したうえで可能な限り実地見学を行っており、オンラインでの説明にも対応しています。



研修医教育講座 & スキルアップセミナー

卒後臨床研修センターでは各診療科の先生方にご協力いただき、研修医教育講座とスキルアップセミナーを定期的に開催し、実臨床に役立つ知識や手技の教育を行っております。ご協力いただいております各診療科の先生方にこの場をお借りして御礼申し上げますとともに、来年度以降に関しましてはご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

また、週1回、卒後臨床研修センター会議室にてネイティブの講師による英会話教室を開催しております(詳しい内容に関しましては、卒後臨床研修センターのホームページをご参照下さい)。

上記のスキルアップセミナーや英会話教室に関しては、医学部の学生さんにも門戸を広げたいです。新型コロナウイルス感染症対策に伴う当院のBCPLレベルに応じて現地参加やWEB参加を受け付けておりますので、ぜひ奮ってご参加ください。



徳島県臨床研修指導医養成講習会

2022年7月および11月に、それぞれ2日間にわたり令和4年度徳島県臨床研修指導医養成講習会が開催されました。今回は徳島県内で初めて、7月の第1回は徳島大学病院日垂ホールに、11月の第2回は徳島県立中央病院に設置した事務局からZoomを用いて配信する完全オンライン形式で開催され、2日間にわたって活発なグループディスカッションが行われました。今後は優れた医療者であることに加えて、適切な方法で研修医に対する評価・フィードバック・指導を行い、若手医師を育てる役割を担っていただきます。



医療のエキスパートを目指して! キャリアデザインセミナー

2022年12月8日(木) 医学科4年生の講義の一環として、「医療のエキスパートを目指して!-キャリアデザインセミナー-」をオンラインにて開催いたしました。まず、福山大学生命工学部生命栄養科学科教授で中国四国厚生局医事課臨床研修審査専門員の田中 信一郎先生に初期臨床研修制度についてご講演いただきました。その後、当院の卒後臨床研修センタースタッフや2年次研修医を交えたオンラインでの対談を実施し、意見交換を行いました。この講義を通じ学生さんの今後のキャリアの選択肢が広がればと考えています。



徳島医学会学術集会

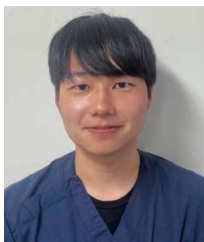
2022年7月31日(日)に第265回徳島医学会が開催されました。前回の開催形式と同じく、招聘講演はオンライン配信で、また従来のポスターセッションはWEB公開での発表形式となりました。徳島大学病院からは6名が右記診療科のご指導による演題発表を行い、鈴木杏奈先生と亀井友志先生が第28回若手奨励賞を受賞されました。熱心にご指導いただきました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。

- 岡田梨花先生(1年目): 消化器内科
- 亀井友志先生(1年目): 脳神経内科
- 鈴木杏奈先生(1年目): 内分泌・代謝内科
- 砂田陽二郎先生(1年目): 腎臓内科
- 中西颯斗先生(1年目): 呼吸器・膠原病内科
- 松崎慶仁先生(1年目): 循環器内科

研修医紹介

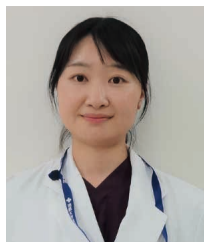
現在、徳島大学病院で
研修中の研修医

勝盛 拳人 (1年次)



1月に和歌山から戻りました。精一杯頑張りますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

鈴木 杏奈 (1年次)



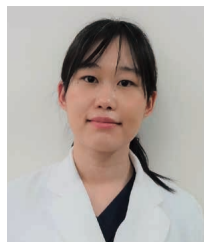
日々周囲の方々に助けて頂きながら充実した研修生活を送っております。ご指導の程よろしくお願いいたします。

砂田 陽二郎 (1年次)



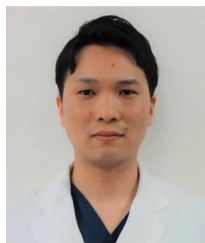
一日一日を大切に多くのことを吸収できるように頑張りたいと思います。ご指導の程よろしくお願いいたします。

新居 寛子 (1年次)



努力を重ね、研鑽に励む日々を送っております。自身の未熟さを恐れ、初心を忘れぬよう努めて参ります。

松崎 慶仁 (1年次)



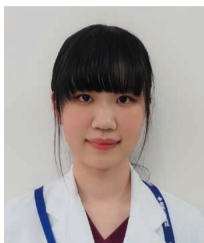
理想とする医師像に1日でも早く近づけるよう毎日勉強していきたくと思います。よろしくお願いいたします。

亀井 友志 (1年次)



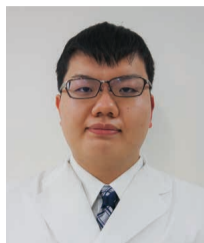
まだまだ未熟ですが、少しでも患者さんの役に立てる医師を目指して精一杯努力します。

木内 華由 (1年次)



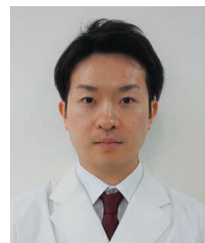
徳島県立中央病院で4ヶ月研修し、11月から大学へ戻ってきました。学んだことを生かしつつ研修に励む所存です。

鴨川 敬 (2年次)



初期研修も残り3か月ですが、瑠璃のように全力で輝いていきたいです！GO! Azure Glow! GO!

高岡 俊 (2年次)



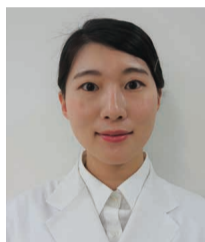
約1年半の研修で大変多くのことを学ばせて頂きました。残りの研修期間も精進していきたいです。

高原 由実子 (2年次)



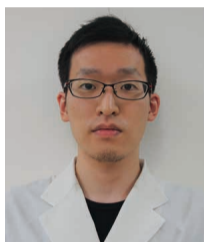
あっという間に一年半が過ぎました。残り僅かな研修を有意義に過ごせるよう日々取り組んで参ります。

寺澤 翠 (2年次)



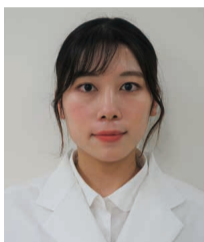
初期研修も残りわずかとなりました。未熟な点ばかりですので周りの人々への感謝を忘れず励んでいきたいです。

吉川 紘平 (2年次)



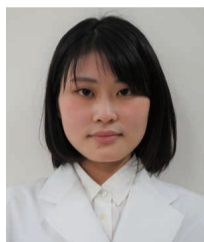
初期研修も終わりに差し掛かり後期研修が近づく時期ですが、一日一日を大切に一所懸命に取り組みます。

青山 理央 (2年次)



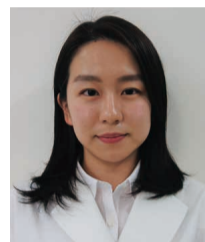
周囲への感謝を忘れず充実した研修となるよう精進して参ります。ご指導よろしくお願いいたします。

國方 江実 (2年次)



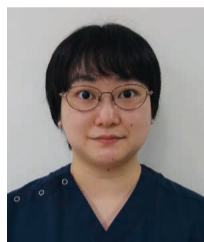
初期研修も残り僅かとなりました。より一層成長できるよう精進しますので、ご指導よろしくお願いいたします。

吉本 奈央 (2年次)



残りの研修も充実したものとなるよう努力してまいります。引き続きご指導よろしくお願いいたします。

西條 早希 (2年次)



後期研修に生かせるよう、残りの期間しっかり学びたいと思います。よろしくお願いいたします。

徳島大学病院 研修医奮闘記 「初期研修を振り返って」



2年次研修医 吉本 奈央 先生
メディカルゾーン重点研修プログラム

＜研修病院・施設＞
徳島大学病院・徳島県立中央病院
徳島県立三好病院
徳島県新型コロナウイルス入院調整本部(県庁)
国立保健医療科学院(埼玉)

こんにちは。研修医2年目の吉本奈央と申します。初期研修も早いもので終盤に差し掛かってまいりました。

私は、メディカルゾーン重点研修プログラムで研修しており、徳島大学病院と徳島県立中央病院を中心に、徳島県立三好病院、徳島県新型コロナウイルス入院調整本部、国立保健医療科学院で研修させていただきました。

徳島大学病院の初期研修は、オーダーメイドによるローテーションが組める点、多数の協力病院・施設での研修が可能である点の2点が大きな魅力であると思います。私は、将来の志望科が絞りきれていなかったため、興味のある科を早めに回ったり、大学病院と市中病院で両方回ったりしました。そうすることで早期に自分の進路を決定し、それに合わせて研修内容をカスタマイズしていくことができました。また、徳島県新型コロナウイルス入院調整本部や国立保健医療科学院での研修では、公衆衛生という視点から医療について考えることができ、病院内の研修だけでは得ることのできない大変貴重な経験がたくさんできました。

最後になりましたが、いつも支えていただいている卒後臨床研修センターの先生方やスタッフの皆様がこの場をかりて感謝申し上げます。充実した研修生活を送ることができる環境に感謝しながら、残りの研修生活も研修後に繋がる有意義なものになるよう一層精進して参ります。



2年次研修医 吉川 紘平 先生
AWAすだちプログラム

＜研修病院・施設＞
徳島大学病院
徳島市民病院
美波病院、藍里病院
徳島県新型コロナウイルス入院調整本部(県庁)
高松市立みんなの病院(香川)

写真右

徳島大学病院2年目研修医の吉川紘平です。あらためて私の初期研修を振り返ろうと思います。

1年目は大学病院からスタートしました。院内を知っているのは安心感があり、研修医の人数も多く心強かったです。卒後臨床研修センターは教員・スタッフに相談しやすい環境で、他病院のような医局ではなくセンター内に研修医デスクがあり、各診療科の先生方に気を遣わずに食事や休憩をしたり、研修医同士で話したりできました。

協力病院は徳島市民病院と高松市立みんなの病院にお世話になりました。徳島市民病院は整形外科の手術件数が多いことから、高松市立みんなの病院は祖父がお世話になっていることから選択しましたが、どちらの病院も研修医を大事にしてくださり、救急外来やcommon diseaseを中心に大学とは違う環境での充実した研修ができました。他にも美波病院や藍里病院、徳島県新型コロナウイルス入院調整本部で研修し、徳大のプログラムならではの多彩な研修ができました。

2年目研修医は後期研修が近づいていますが、将来への影響が大きく、進路に悩む方も多いです。人生の師を見つけることも大切ですが、まずは色々な場所で様々な視点を持った人と出会うことが重要ではないかと思います。徳大のプログラムは、そうした多様な経験ができることが一番の長所だと感じています。私もこの2年間の経験を糧に、一層の努力を重ねたいと思います。

最後になりましたが、これまでお世話になったすべての方にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

医員募集

令和5年度の医員募集情報

徳島大学病院では、下記の要領で、令和5年度の医員(卒後3年目以降の専門医研修者を含む)を募集します。

令和5年度の 医員募集の概要

条件	医師免許取得後2年以上臨床研修を行った者または、令和5年3月までに卒後臨床研修を修了(予定)している者。
募集人数	170名(ただし、専門医研修希望者はすべて受け入れます)。
処遇	国立大学法人徳島大学有期雇用職員就業規則による。
募集のための書類	希望する診療科または、総務部人事課蔵本人事係にお問い合わせください。 総務部人事課蔵本人事係 Tel.088-633-7018 Fax.088-633-7474
募集の締め切り	令和5年1月10日(火)
問い合わせ先	採用希望される場合は、随時、各診療科または、病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係)までお問い合わせください。 病院キャリア形成支援センター(総務課専門研修係) Tel.088-633-9976 Fax.088-633-9543 E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp https://www.careercenter-dr.jp/

ホームページ

卒後臨床研修センターでは、適宜ホームページをリニューアルしております。コロナ禍により病院見学やプログラム説明会への参加が難しい方々に配慮して、医学生に向けた卒後臨床研修センター・研修プログラムの紹介動画、および研修プログラムのデジタルパンフレットを公開しています。その他、研修プログラムの情報や研修医のブログなど様々な情報を配信しております。当院での研修にご興味のある方は、卒後臨床研修センターホームページにアクセスいただけますと幸いです。

■ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。
bsotsugo@tokushima-u.ac.jp



徳島大学病院卒後臨床研修センター
Tel: 088-633-9359
Fax: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: https://www.tokudai-sotsugo.jp



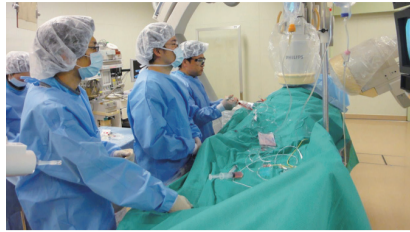
徳島大学病院 診療科案内

お問い合わせは
【初期研修】卒後臨床研修センター
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
【専門医研修】キャリア形成支援センター
E-mail: bcareer@tokushima-u.ac.jp

循環器内科

(科長 佐田 政隆)

循環器内科は、虚血性心疾患や不整脈に対するカテーテル治療や画像検査、心臓リハビリなどの専門・高度医療にわたる幅広い領域をカバーしています。循環器救急24時間体制を構築しており、徳島県内の各種医療機関との病診連携も積極的に行っています。初期ならびに専門医研修については、四国はもとより東京、大阪、神戸、沖縄、静岡、愛知、熊本などの県外医療機関と連携して、各自の将来設計に柔軟に対応できるプログラムを提供しています。



連絡先 佐田 政隆 masataka.sata@tokushima-u.ac.jp
山口 浩司 yamakoji3@tokushima-u.ac.jp
(卒後研修主任) tel.088-633-7852 fax.088-633-7894
http://square.umin.ac.jp/TOKUSHIM/

呼吸器・膠原病内科

(科長 西岡 安彦)

肺癌、間質性肺炎、呼吸器感染症、気管支喘息、膠原病を中心に、指導医・専門医のもとチーム医療を推進しています。呼吸器病学、膠原病学に加え、臨床腫瘍学、感染症学、アレルギー学、免疫学等の幅広い分野の臨床経験が積めることは当科の特徴です。肺癌や間質性肺炎の治療・臨床試験に積極的に参加し、国内外の留学による研修等を通じて総合力アップを意識し、全国レベル・国際レベルの医療人育成を目指しています。



連絡先 佐藤 正大 sato.seidai@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7127 fax.088-633-2134
https://plaza.umin.ac.jp/sannai/

消化器内科

(科長 高山 哲治)

当科では消化器疾患の診療を中心に、内科を幅広く診療できる医師の育成を目指しています。消化器診療においては、早期胃癌・食道癌・大腸癌に対する粘膜下剥離術(ESD)を多数行い、肝臓に対してはラジオ波焼灼術や高度なインターベンション治療を多数行っています。また、種々の進行消化器癌に対して最新の分子標的治療薬を含めた質の高い化学療法を行うとともに優れた全身管理を行っています。当科における研修システムでは指導医が充実しており、指導医と研修医が一体となって最善の医療を提供しております。

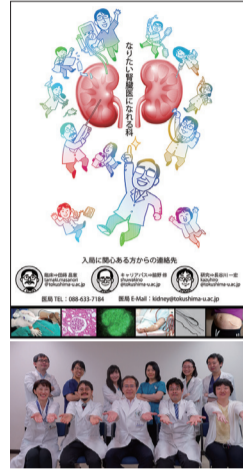


連絡先 谷口 達哉 t-taniguchi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7124 fax.088-633-9235
http://www.tokudai-shoukaki.jp/

腎臓内科

(科長 脇野 修)

腎臓内科では、県下一円から難治性の腎疾患患者を受け入れています。腎臓内科の診療活動は、ネフローゼ症候群・腎炎などの腎疾患の診断治療と慢性腎不全の透析導入、透析室管理、他科よりのコンサルテーション臨床の4つの柱からなっています。糖尿病、高血圧、膠原病など全身性疾患からの腎障害も多く、広く内科全般に渡る症例を経験するとともに、急性腎不全を含めた透析管理、電解質管理を研修していただきます。横断的な腎移植、小児腎、透析栄養カンファも行っています。当科での取得可能専門医:内科・総合内科・腎臓・透析。

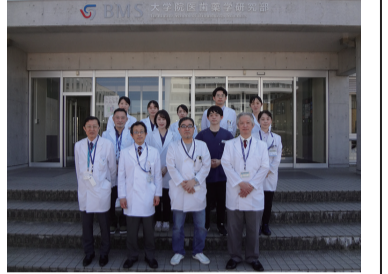


連絡先 長谷川 一宏 kazuhiko@tokushima-u.ac.jp
田崎 昌憲 tamaki.masanori@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9116 fax.088-633-9245
https://tokudai-kidney.jp/

内分泌・代謝内科

(科長 遠藤 逸朗)

内分泌代謝疾患には糖尿病、脂質異常症、甲状腺機能異常、二次性高血圧、骨粗鬆症など、日常診療で遭遇する頻度が高い疾患が含まれます。また、内分泌代謝疾患診療では、患者さんの全身を診るのみならず、その社会的背景も勘案した治療方針を考える必要があります。当科では、臨床医に必要なとされる幅広い病態の理解と的確な診断能力、そして最善の治療方針を立案できるスキルを身につけることができる教育、指導を行っています。



連絡先 遠藤 逸朗 endoits@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://www.tokudai-ichinai.jp/
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=4

血液内科

(科長 安倍 正博)

血液内科では、造血障害、造血器腫瘍や免疫不全を中心とした疾患に対し、造血幹細胞移植術などの新しい診断技術や治療法を取り入れ幅広く診療を展開しております。このような治療の遂行においては、多職種医療従事者とのチームによる全人的かつ専門的診療が重要です。当科では一般内科を基盤としたきめ細かな患者の全身管理がでるバランスのとれた医師の育成を目指しています。

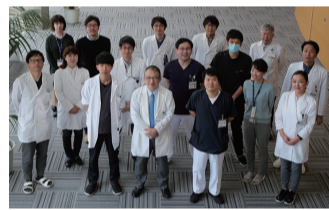


連絡先 安倍 正博 masabe@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7120 fax.088-633-7121
http://www.tokudai-ichinai.jp/

脳神経内科

(科長 和泉 唯信)

徳島大学脳神経内科は、「治る脳神経内科」をモットーに、コモンな疾患(頭痛、しびれ等)から神経難病まで幅広くカバーします。専門性に関して、ALSと不随意運動の診療・治療、電気生理検査を伝統的に得意とし、脳血管内治療の指導医も在籍しています。徳島では、神経疾患が大学病院に集中し、これは臨床の技や考え方を磨くにあたり大きなアドバンテージです。ぜひ徳島大学脳神経内科で研修して下さい。短い期間の研修も大歓迎です!



連絡先 藤田 浩司 kfujita@tokushima-u.ac.jp
(医局: neuro@tokushima-u.ac.jp)
tel.088-633-7207 fax.088-633-7208
http://www.neuro-tokushima.com

総合診療部

(部長 谷 憲治)

近年、高齢化や生活習慣の変化に伴って慢性疾患の増加や疾病の多様化が目立っています。総合診療部では、患者さんの年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、症状や検査データに加えて、患者さんの社会的背景、心のケアを含めた総合的視点で、包括的・全人的医療に取り組んでいます。また、2018年度に開始された新専門医制度における「総合診療専門医」の専門研修基幹施設として、徳島県内の様々な医療機関と連携して、未来の総合診療医の育成にも力を入れています。



連絡先 大倉 佳宏 ookura.yoshi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9656 fax.088-633-9687
http://www.tiiki.umin.jp/

心臓血管外科

(科長 秦 広樹)

2020年2月に新体制となり成人心疾患、先天性心疾患、大動脈・末梢血管疾患、重症心不全など広くカバーし着実に手術数が増加し若手医師の執刀症例が増えています。当科では手術手技や周術期管理の習得に加え、基礎・臨床研究や論文作成もできるバランスの取れたAcademic Surgeonの育成を目指します。今、新しい力、次世代の執刀医が必要です。徳大心臓血管外科で専門医を目指し研修を始めませんか。



連絡先 北市 陸 kitaichi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7581 fax.088-633-7408
https://tokudai-cvs.jp/

食道・乳腺甲状腺外科

(科長 後藤 正和)

食道癌、乳癌、甲状腺癌について診断から治療まで幅広く研修可能です。パセドウ病に対する内視鏡外科手術など良性疾患の治療にも取り組んでいます。消化器外科領域では、高難度手術とされる食道外科の修練認定施設です。基本的な外科的手技、周術期管理、患者さんに合った医療を他科や他職種と共に学び、執刀経験を積むことができます。希望する領域について専門医取得可能な環境が整っています。興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 後藤 正和 mgoto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
https://www.tksbizan.com

呼吸器外科

(科長 滝沢 宏光)

肺癌、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍など腫瘍性疾患を中心として、漏斗胸、腰痛、気胸など呼吸器外科疾患全般に関して診療を行っています。肺癌手術は完全胸腔鏡下手術で行い、ロボット支援手術も導入しています。気管支鏡検査、気管支鏡インターベンションにも力を入れており、早期肺門部肺癌に対する光線力学療法や気道狭窄に対するステント、レーザー治療も行っています。呼吸器外科を志す人にとって充実した環境を提供できると幸いです。興味のある方は是非ご連絡ください。



連絡先 鳥羽 博明 surgery2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7143 fax.088-633-7144
http://www.tksbizan.com/

泌尿器科

(科長 金山 博臣)

徳島大学泌尿器科専門研修プログラムでは、多くの診療拠点病院、教育関連施設で研修を受けることが可能で、症例も多く、充実した研修が行えます。早い段階から開腹手術や腹腔鏡手術の執刀を行い、泌尿器腹腔鏡技術認定医・腎移植認定医等のsubspeciality領域の認定医習得ができます。透析施設も多く、透析専門医の習得も可能です。また、ロボット支援手術を積極的に導入しており、大学を含めた10施設で導入しています。希望により大学院進学、国内・海外留学も可能です。泌尿器科に興味を持つ熱意ある先生の入局を待っています。



連絡先 金山 博臣 kanayama.hiroomi@tokushima-u.ac.jp
高橋 正幸 takahashi.masayuki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7159 fax.088-633-7160
http://tokushima-u-urology.jp

消化器・移植外科

(科長 島田 光生)

当科には全国に通用する一流の外科医の育成環境が整っています。肝胆膵領域では高難度手術・生体肝移植を行い徳島唯一の高度技能修練施設A指定を受け、高度技能専門医は5名で全国トップクラスです。消化管領域では6名の内視鏡外科技術認定医が胃癌・大腸癌手術の執刀・指導を行い、ロボット手術や直腸癌に対する経肛門手術(TaTME)の症例数は全国屈指です。若手の執刀機会も多く、最短での各専門医取得が可能です。

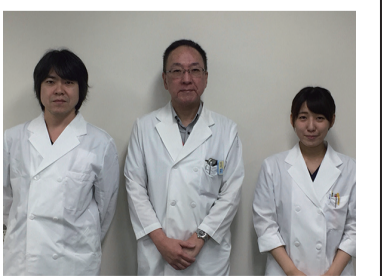


連絡先 徳永 卓哉 tokunaga.takuya@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7139 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/surg1/index.html

小児外科・小児内視鏡外科

(科長 石橋 広樹)

①小児外科の広範な疾患に対する治療:四国の小児外科の中心的施設として、胸部、腹部をはじめ小児悪性腫瘍および、泌尿器科領域まで広範な疾患をカバーしています。
②小児外科領域での鏡視下手術:小児単径ヘルニアに対するLPEC法その他、ヒルシュスプリング病、鎖肛、GERDなどに対しても積極的に鏡視下手術を施行しており、中国・四国地方では、唯一の日本内視鏡外科学会技術認定医(小児外科)が在籍しています。



連絡先 石橋 広樹 hiroki@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9276 fax.088-631-9698
http://www.tokugeka.com/surg1/index.html

眼科

(科長 三田村 佳典)

人間は外界からの情報の80%を視覚から得ており、高齢化社会を迎え眼科学の重要性は増すばかりです。当教室では網膜硝子体、緑内障、角膜、斜視弱視、ぶどう膜炎、眼瞼眼窩、神経眼科といった広範囲の専門分野を研修することができます。また、最新の画像診断技術や人工知能を用いた質の高い眼科画像解析を行っております。ぜひ、我々とともに活気あふれる教室を作ってゆきましょう。



連絡先 三田村 佳典 ymitaymitaymita@yahoo.co.jp
tel.088-633-7163 fax.088-631-4848
http://www.tokushima-ganka.jp

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

(科長 北村 嘉章)

現代の耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、頭頸部の感覚運動医学、機能再建外科、頭頸部腫瘍外科を担当する科です。徳島大学耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科の全ての担当範囲において国際トップレベルの医療と研究を行い、明るく楽しく積極的に、個性を尊重して個性を伸ばし、世界一の耳鼻咽喉科をめざしています。徳大耳鼻科で頭頸部のスペシャリストをめざしませんか？



連絡先 東 貴弘 azuma.takahiro@tokushima-u.ac.jp
(総務医長) tel.088-633-7169 fax.088-633-7170
http://www.toku-oto.umin.jp

整形外科

(科長 西良 浩一)

整形外科は骨・筋肉・関節・神経・靭帯など運動器を幅広く扱う診療科です。ひとたび運動器が障害されれば、人間らしい生命活動は満足に行うことが出来ません。すなわち、運動器は人間が人間たる所以を発揮するのに、最も重要な器官ともいえます。整形外科は老若男女、全身(上肢・下肢・体幹)をカバーするため守備範囲が広く、国民から最も必要とされています。徳島から世界にはばたく整形外科になりませんか。



連絡先 西良 浩一 seikei2@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7240 fax.088-633-0178
http://www.utokushima-orthop.com/

皮膚科

(科長 久保 宣明)

皮膚科は現在、14人で毎日平均70人の外来患者、10人の入院患者を診ながら、教育、研究を行っています。過去10年間の新入医員は年平均2人です。後期研修の目標は、①実学としての皮膚科学の習熟、②皮膚科専門医取得、③研究です。全て卒業後が勝負で、体力、気力、好奇心をもち、皮疹を通してさまざまな病態を柔軟に考え加療して下さい。また研究にも興味を示してほしいと思います。いずれにせよ、皮膚科を選んだことを後悔することはありません。

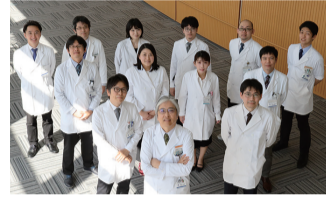


連絡先 久保 宣明 kubo@tokushima-u.ac.jp
仁木 真理子(総務医長) niki.mariko@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7154 fax.088-632-0434
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=17

形成外科・美容外科

(科長 橋本 一郎)

形成外科は、身体の組織の変形や欠損に対して、より正常に近づけることを目的とする外科系の専門領域です。当科の研修プログラムは、基本的な手術手技の習得から始まり、大学病院と連携施設で研修することで、頭頸部や乳房再建などに必要となるマイクロサージャリーの技術や、顔面骨折などの外傷、唇裂口蓋裂などの体表先天異常の治療に必要な高度な技術以外に、美容に関するレーザー治療の技術なども習得することが可能です。



連絡先 峯田 一秀 keisei@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7296 fax.088-633-7297
https://plaza.umin.ac.jp/tokudaikeisei/

脳神経外科

(科長 高木 康志)

脳神経外科は、common diseaseである脳血管障害、頭部外傷、脊椎脊髄疾患に加え、脳腫瘍、機能的疾患、小児神経疾患など様々な疾患を対象とします。徳島大学病院では脳卒中センターを有しており、将来進む科にかかわらずすべての初期研修医が、脳卒中診察、脳血管外科手技、脳血管内治療について学べるシステムを提供しています。また、ウェブカンファレンスシステムを用いて、関連病院間でのカンファレンスが可能で、専門知識の習得が行えます。後期研修では、脳神経外科疾患全般に対応できる能力を身に着けるだけでなく、興味を持つ専門領域の技術を獲得できるようにバックアップします。

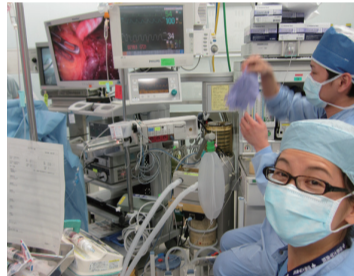


連絡先 兼松 康久 kanematsu.yasuhisa.1@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7149(内線 3246) fax.088-632-9464
https://tokushima-nougeka.jp/

麻酔科

(科長 田中 克哉)

初期研修プログラムではどの科に進んでも必要な呼吸循環管理ができることを目標としています。麻酔科では、適切な麻酔をかけるだけでなく、手術や麻酔薬の影響で刻々と変化する全身の病態を早期に評価し、制御しています。気道確保など生命に直結する手技の習得と全身管理の面白さを体験できます。後期研修プログラムでは関連病院も含めてローテーションすることであらゆる症例や状態に対応できる麻酔科医を養成しています。

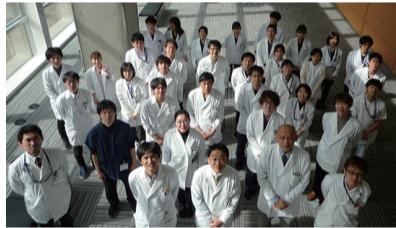


連絡先 田中 克哉 katsuya.tanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7181 fax.088-633-7182
http://tokudaimasui.jp/

精神科神経科/心身症科

(科長 沼田 周助)

精神疾患を有する総患者数は400万人を超え、精神疾患は国の定める5大疾病の1つです。社会における精神科医の診療の役割と責務は非常に大きく、今、精神科医が求められています。精神科は小児から老人まで非常に守備範囲の広い診療科であり、自分のライフスタイルや興味に合わせて方向性を選択することができます。大学病院はもちろんのこと、大学病院関連研修施設の指導体制も充実しています。ぜひ徳大精神科で研修してください。



連絡先 梅原英裕 umehara.hidehiro@tokushima-u.ac.jp
(医局長) tel.088-633-7130 fax.088-633-7131
http://tokushima-psychiatry.jp/

小児科

(科長 漆原 真樹)

「子どもの健康を守ることのできる小児科専門医を育成すること、更に小児科サブスペシャルティエ(専門分野)を含めた診療能力の養成とキャリア形成」が小児科医局員の目標です。小児救急医療(プライマリケア)、新生児医療から専門性の高い最新の医療まで幅広い知識と診療能力を習得できるよう、新しいことに挑戦し、日々診療に研究に努力しています。我々の未来である子ども達のために、小児医療に興味がある医師の方と共に頑張っていきたいと思っています。小児科への入局を心からお待ちしております。

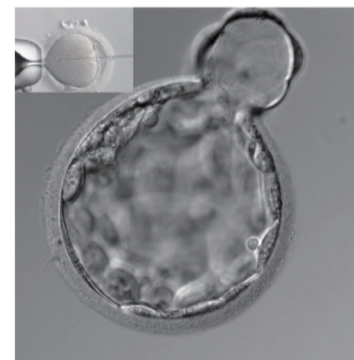


連絡先 杉本 真弓 sugimoto.mayumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7135 fax.088-631-8697
http://www.tokudai-pediatrics.net/

産科婦人科

(科長 岩佐 武)

産科婦人科には生殖、腫瘍、周産期、女性医学の4診療部門があり、専門診療はもちろんのこと、それにかかわる基礎的および臨床的研究を行っています。4部門すべてが揃う強みを活かして、学生および初期・後期研修医の指導を行っています。産科婦人科に興味のある方はお気軽に御連絡下さい。



連絡先 吉田 加奈子(総務医長) yoshida.kanako@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7177 fax.088-631-2630
http://www.tokudai-sanfujinka.jp/Total/index.html

放射線診断科

(科長 原田 雅史)

放射線診断科では画像診断(CT、MRI、核医学、超音波、消化管透視等)やIVR(血管内治療、CTガイド下生検等)をはじめ、最先端の脳機能MRIやアミロイドイメージング、凍結療法等を行っており、全国トップクラスの環境と技術を誇っています。新たに人工知能(AI)の診断補助プログラムも導入し、遠隔診療を含めたIT技術を活用して高度な医療システムにも対応しました。これらにより多様な柔軟性と幅広い働き方が可能であり、個人の特性と環境に応じた選択が行え、仕事と私生活のバランスをとることが可能です。多くの医師が興味をもって来ていただければと思います。

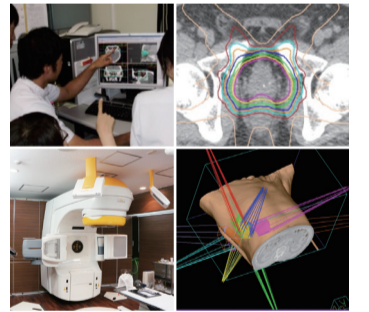


連絡先 原田 雅史 masafumi@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173(内線 9283) fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=25

放射線治療科

(科長 生島 仁史)

徳島大学病院放射線治療科は3台の高精度外部放射線治療装置(リニアック)と10台の三次元放射線治療計画装置、そして前立腺癌や子宮癌等に対する密封小線源治療システムを有し、1年間に約1000人の患者を受け入れている中国・四国で有数の放射線治療施設です。粒子線治療を除くすべての放射線治療の研修が可能であり、多くの診療科と連携しながら集学的がん治療を実践する中で、最新放射線治療技術を習得したがんプロフェッショナルを育成しています。

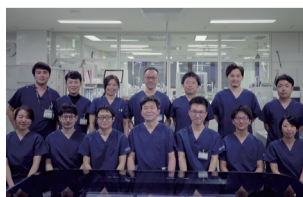


連絡先 川中 崇 kawanaka@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7173 fax.088-633-7468
http://www.tokushima-hosp.jp/info/circulatory.html?rank_code=unit&belong_code=26

救急集中治療部

(部長 大藤 純)

重症患者は様々な臓器に問題を抱えており、治療には呼吸や循環、感染症、栄養、腎・酸塩基平衡などに関する幅広い知識と病態を総合的に評価する力が必要です。救急集中治療部では、重症新型コロナウイルス肺炎を含む急性呼吸不全、循環不全、重症感染症や開心術後など、多様な重症患者の診療に携わり、人工呼吸、急性血液浄化、ECMOなどの高度な集中治療を通じて知識や技術、判断力を身につけることができます。急性期医療や重症患者管理に興味がある人は一緒に働きましょう。他科志望の人の研修も歓迎します。



連絡先 大藤 純 joto@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9347 fax.088-633-9339
http://www.tuh-ericu.org/

リハビリテーション部

(部長 松浦 哲也)

リハビリテーション部では、各種疾患により生じた障害を克服すべく、患者さんとともに「今後目指すべき生活・人生の姿」のゴールを設定し、その目標に向かって様々な機能訓練を行っています。疾患そのものより、疾患を負った患者さんを総合的に診断・治療することに興味を持つ研修医の方々には最適な診療科です。患者さんに寄り添いながら、全人的な診療を目指しましょう。



連絡先 松浦 哲也 tmatsu@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-9313 fax.088-633-7204

病理部

(部長 上原 久典)

病理部は、病理組織診断・細胞診断を行うことにより、院内で実施される医療行為にevidenceを与える仕事を担っています。全国的に病理専門医数は絶対的に不足しています。医療界全体が病理医の育成、獲得に必死になる時代が到来しています。研修にあたっては、各人の事情(婚姻、子供の有無、勤務時間等)を考慮し、弾力的に対応します。病理診断に興味のある研修医を心からお待ちしております。



連絡先 上原 久典 uehara.h@tokushima-u.ac.jp
tel.088-633-7454 fax.088-633-9565
https://macro396.wixsite.com/tuhdp